

社会資本総合整備計画

■ 計画の名称 岩倉市における下水道の安全安心基盤整備		
■ 計画の期間 平成23年度～平成25年度		
■ 計画の目標 ・雨水調整池の設置及び既設水路断面の増径等で浸水被害常襲区域の都市浸水の解消を図り、水害に強い安全・安心なまちづくりを推進する。 ・下水道整備における地域再生の途上にあることから、さらなる生活環境の向上のため、良好な水環境整備に努め、質的に充実した「成熟した都市型社会」の形成を目指す。		
■ 計画の目標を達成するために必要な交付対象事業 【基幹事業(下水道事業)】 ・岩倉北小学校地下貯留施設(浸水対策) ・泉地区水路改修(浸水対策) 【効果促進事業】※ ・雨水流出抑制施設		
■ 定量的指標の定義	当初現況値	最終目標値
	平成23年度	平成25年度末
・本計画区域内の過去10年間に浸水被害を受けた世帯のうち、被災時と同程度の出水で、再度被害を受ける可能性のある延べ世帯数	556世帯	⇒ 0世帯
・岩倉市における雨水貯留施設整備進捗率	12.4%	⇒ 20.3%

※【効果促進事業】とは・・・社会資本総合整備計画の目標を実現するため、基幹事業(本計画では下水道事業)と一体となって、その効果を一層高めるために必要な「事業等」

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:岩倉市における下水道の安全安心基盤整備

事業主体名:岩倉市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1) 上位計画(新川流域水害対策計画)と適合している。	○
2) 当市雨水整備計画と適合している。	○
3) 当市総合計画(第4次)と適合している。	○
4) 当市都市計画マスタープランに適合している。	○
5) 各種法令(都市計画法、下水道法等)を遵守している。	○
②地域の課題への対応	
地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量式指標の整合性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
②事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業効果は指標・数値等を用いて客観的に示されている。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境	
1) 事業実施のための事業認可を取得している。	○
2) 関係機関との協議の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○